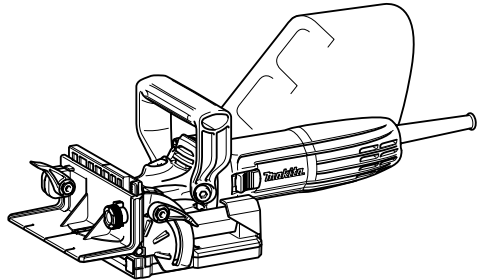


Makita

取扱説明書

ジョイントカッタ

☐ モデル PJ7000



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。

マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**ジョイントカッタ**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次



・ 主要機能	-----3
・ 安全上のご注意	-----4
・ ジョイントカッタ安全上のご注意	-----7
・ 各部の名称および標準付属品	-----9
・ 別販売品のご紹介	-----10
・ 使い方	-----11
・ ダストバッグの取り付け方	-----11
・ 切り込み深さの設定	-----11
・ フェンス	-----13
・ セットプレート	-----14
・ スイッチの操作	-----14
・ カッタの取り付け・取りはずし方	-----15
・ ジョイントの種類と作業方法	-----16
・ 1. コーナージョイント	-----16
・ 2. T形ジョイント	-----18
・ 3. マイタージョイント	-----19
・ 4. フレームジョイント	-----19
・ 5. エッジジョイント	-----20
・ 接合加工	-----20
・ 保守・点検について	-----21
・ 本機のお手入れ	-----21
・ ご修理の際は	-----21

主要機能

主要機能 / モデル	PJ7000
電動機	直巻整流子電動機
電圧	単相交流 100V
電流	7.3A
周波数	50-60Hz
消費電力	701W
回転数	11,000min ⁻¹ (回転 / 分)
刃物寸法	外径 Φ 100mm × 内径 Φ 22mm
最大切り込み深さ	20mm
本機寸法	長さ 302mm × 幅 139mm × 高さ 145mm
質量	2.3kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について


ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPA001-19

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 発火の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を近付けないでください。
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
4. 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
5. 感電に注意してください。
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
6. 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したりしないでください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
7. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
 - ・ コードが損傷し、感電する恐れがあります。
8. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
9. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいたりするときは、電動工具を使用しないでください。

⚠ 警告

10. 安全保護具を使用してください。

- ・ 作業時は、常時保護めがねを使用してください。滑り防止安全靴・ヘルメット、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

12. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源コンセントにつないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

13. 電動工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。

- ・ 電源を入れる前に、調整に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

15. きちんとした服装で作業してください。

- ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をおすすめします。
- ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

16. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ・ 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

17. 無理して使用しないでください。

- ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

18. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- ・ 指定された用途以外に使用しないでください。

19. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

20. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

21. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。また、電動工具またはその説明書に不慣れな者には電動工具を使用させないでください。

⚠ 警告

22. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に電動工具の修理を行ってください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

23. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

24. 新しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

25. 電動工具の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

26. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(材料を動かして加工する製品を除く。)

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

ジョイントカッタ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ジョイントカッタとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

JPB141-3

⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. カッタは、本機の定格回転数以上の定格のものを使用してください。
 - ・ 定格を超えて回転するカッタは、破損したカッタの破片が飛び散って、けがの原因になります。
3. カッタが露出した位置で、ベースを固定しないでください。また、ベースが円滑に動くことを確認してください。
 - ・ カッタが身体に接触し、けがの原因になります。
4. 材料は、安定性のよい台に置いたり、クランプやバイスなどを使用して確実に固定してください。
 - ・ 不安定ですと、けがの原因になります。
5. 使用中は、本機を確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、本体が振れ、けがの原因になります。
6. 使用中は、カッタや回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、カッタや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. カッタは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. カッタにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ カッタが破損し、けがの原因になります。
3. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
4. 作業前に、人のいない方向にカッタを向けて回転させ、本機の振動やカッタの面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・ 異常があるとけがの原因になります。
5. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・ 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
6. 材料の前方に手を置いたり、コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。
 - ・ 手を切ったり、コードを切断し、感電の恐れがあります。
7. 回転するカッタで、コードを切断しないように注意してください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
8. 本機を万力などで保持した使い方はしないでください。
 - ・ 不意の接触などで、けがの原因になります。
9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
10. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

注

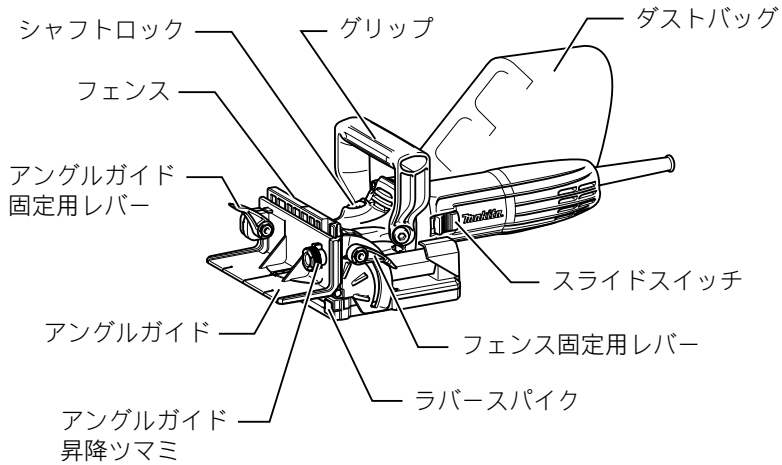
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5A	5 ～ 10A	10 ～ 15A
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 超硬カッタ 100-4
- ・ アングルガイド (本機取り付け)
- ・ ダストバッグ
- ・ ロックナットレンチ 20
- ・ プラスチックケース
- ・ セットプレート

別販売品のご紹介

別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。

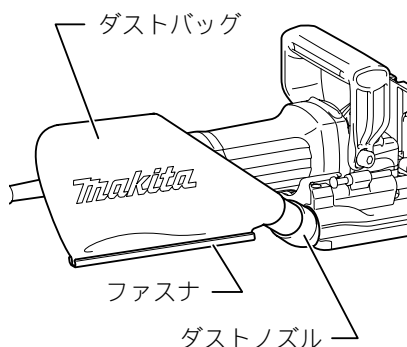
- ・ 超硬カッタ 100-4
部品番号 A-13362
- ・ セーフティゴーグル
部品番号 191686-2
- ・ ビスケット (100 個入)

名称	寸法 (長さ×幅×厚 mm)	部品番号
No.0	47 × 15 × 4	A-16922
No.10	53 × 19 × 4	A-16938
No.20	60 × 23 × 4	A-16944

使い方

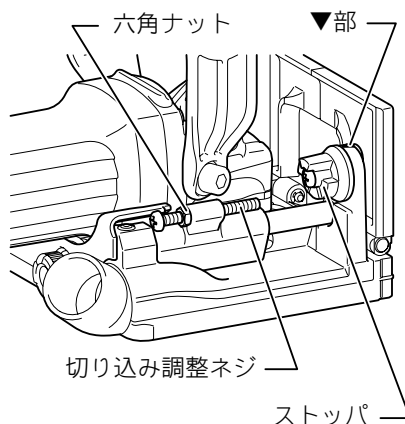
ダストバッグの取り付け方

- ・ ダストバッグの口元をダストノズルに差し込んでください。はずすときはダストバッグの口元を回しながら引いてください。
- ・ 作業中にダストバッグがじゃまになる場合は、作業のじゃまにならない方向へダストノズルを回してください。
- ・ ダストバッグは早めに掃除してください。掃除の際は、ダストバッグを取りはずし、ファスナを引き抜き、中の切り屑を捨ててください。
- ・ 当社集じん機を接続して使用していただきますと、より一層衛生的な作業ができます。



切り込み深さの設定

- ・ 切り込み深さは、ビスケットの大きさに応じて 6 段階に設定できます。ストップを回して、ストップNo.を▼部に合わせてください。
- ・ ストップNo.とビスケットNo.および切り込み深さの関係は下記表の通りです。
- ・ 切り込み深さが表の数値と異なるときは、六角ナットをゆるめ切り込み調整ネジを回して調整してください。

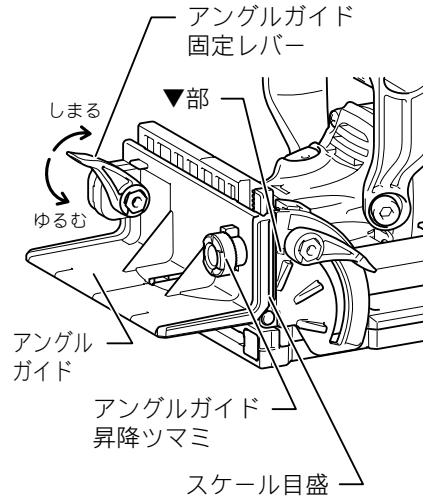


ストップNo.	0	10	20	S	D	MAX
ビスケットNo.	0	10	20	—	—	—
切り込み深さ (mm)	8.0	10.0	12.3	13.0	14.7	20.0※ (最大)

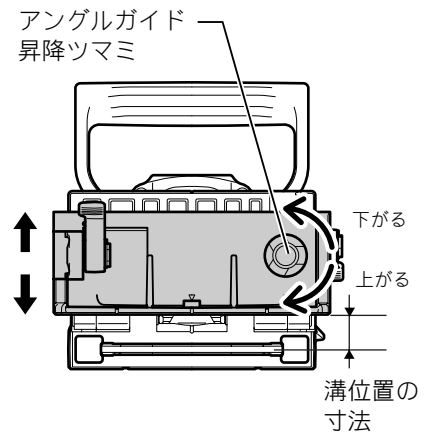
※ラバースパイクを取りはずしたとき。

使い方

- ・ アングルガイドは、材料の厚さの中心や任意の位置に溝を加工する場合に使用すると作業がしやすくなります。



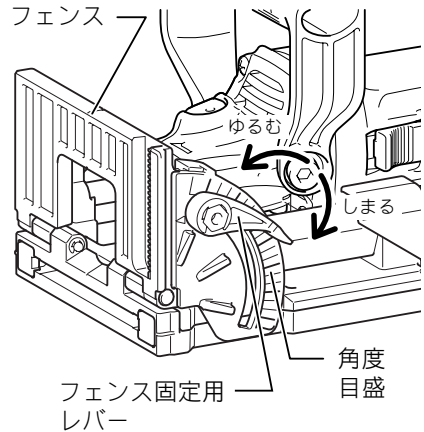
- ・ 溝位置の寸法設定は、アングルガイド固定用のレバーを緩め、アングルガイド昇降ツマミを回してアングルガイドのスケール目盛をフェンス側面の▼部に合わせてください。
- ・ スケール目盛は、材料の表面からカット幅の中心までの寸法を表わしています。



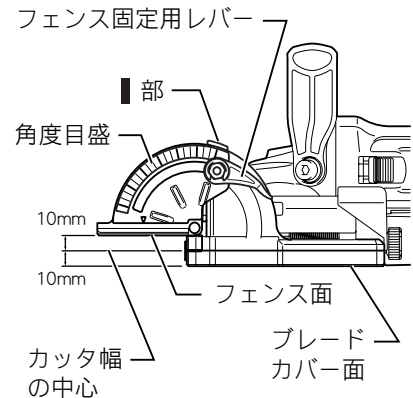
使い方

フェンス

- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、アングルガイドの代わりにフェンスを案内にして、傾斜面の溝加工、板の側面溝加工等ができます。
- ・ フェンス角度を設定するときは、フェンス固定用のレバーを緩め、フェンスの角度目盛をベースの ■ 部に合わせてください。



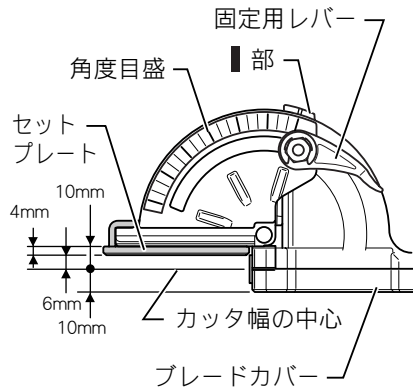
- ・ フェンスを 90 度倒すと、カッタ幅の中心からフェンス面までの寸法、およびブレードカバー面までの寸法が 10mm になります。



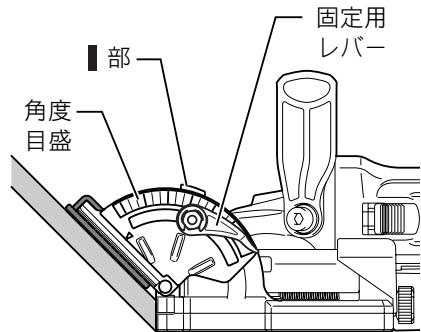
使い方

セットプレート

- ・ セットプレートは、薄板に溝加工する場合、アングルガイドを使わずに、ワンタッチで溝位置が変更られます。



- ・ マイタージョイントの溝加工をする場合も、薄板の加工ができます。

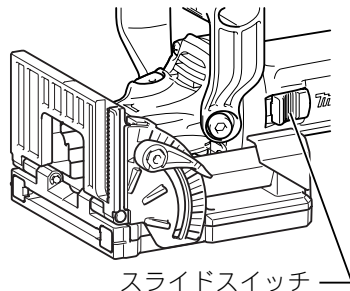


スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に回り出し、事故の原因になります。
- ・ スイッチはスライドスイッチを「I」側にスライドさせると入ります。その状態からスライドスイッチの前部を押すと、固定され連続運転します。停止するには、スライドスイッチ後部を押して「O」側にスライドすると切れます。



使い方

カッタの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

カッタの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、事故の原因になります。

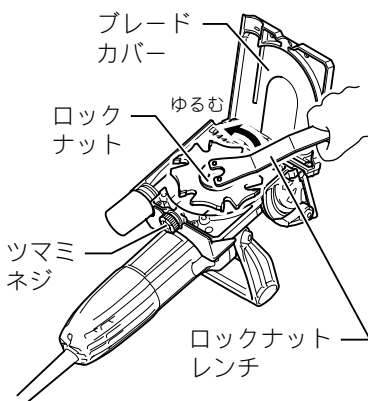
⚠ 注意

カッタの着脱は付属のロックナットレンチ以外の工具は使わないでください。

- ・ 締め過ぎや締め付け不足となり、けがの原因になります。

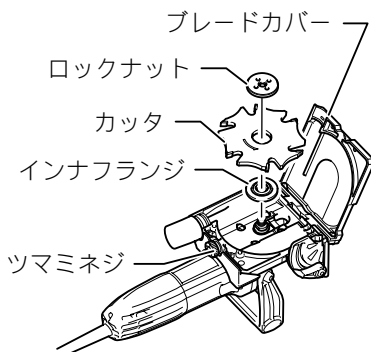
取りはずし方

- ・ ツマミネジを緩めて、ブレードカバーを開いてください。
- ・ シャフトロックを押して軸を固定し、ロックナットレンチでロックナットをはずしてください。



取り付け方

- ・ インナフランジを「22」の刻印が表になるようにしてください。
- ・ インナフランジ→カッタ→ロックナットの順に取り付けてください。
- ・ シャフトロックを押して軸を固定し、ロックナットレンチでロックナットをしっかりと締め付けてください。
- ・ ブレードカバーを閉じて、つまみネジを締め付けてください。



使い方

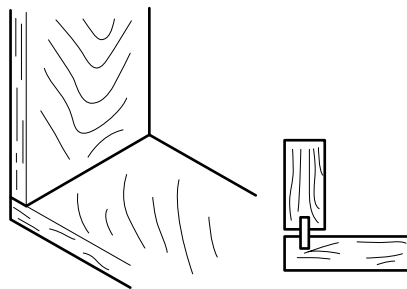
ジョイントの種類と作業方法

注

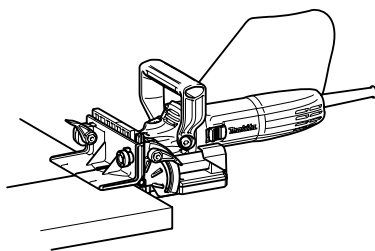
- ・ 作業をする際は、本機を両手で保持してください。
- ・ 材料に溝位置の中心線を描いてください。溝位置の中心線の入れ方は材料の継ぎ方によって異なりますので各々の作業方法を参照して、材料表面および側面に鉛筆等で描いてください。
- ・ 溝位置を示す中心線は、材料の端から 50mm 以上離れた位置に、また中間に入れる溝は、100～150mm 間隔で描いてください。

1. コーナージョイント

- ・ 垂直組み付け材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドの寸法およびストップパを調整して、アングルガイドセンターマークを材料の中心線に合わせてください。

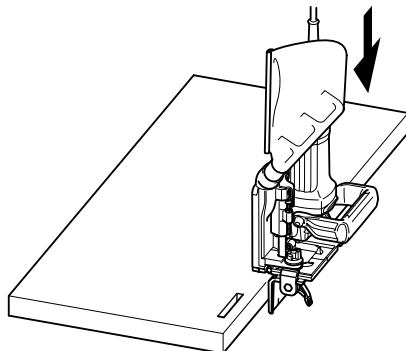


- ・ センターマークがずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押ししてください。
- ・ 切り込み調整ネジがストップパに当たりましたら、ゆっくり本機を元の位置まで戻してください。
- ・ 水平組み付け材料を作業台に固定してください。

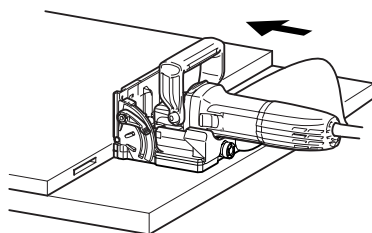


使い方

- ・ アングルガイドは、垂直材料の場合と同じままにして、アングルガイドを材料の木口に当てて、ベースのセンターマークと材料の中心線を合わせてください。
- ・ センターマークがずれないように注意しながら、垂直材料の場合と同様に加工してください。



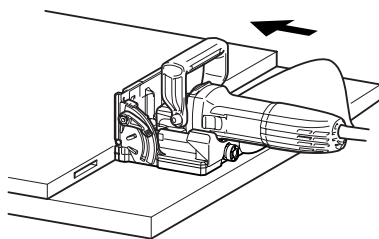
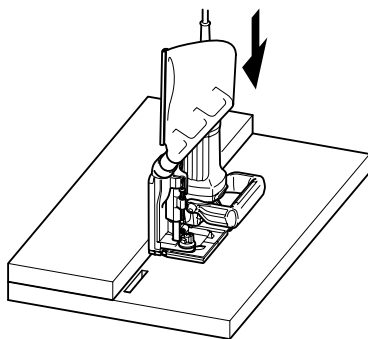
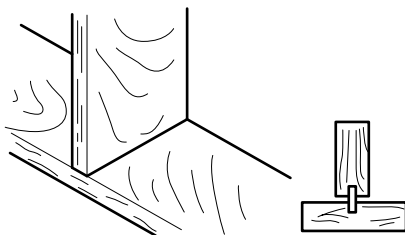
- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、次の2つの方法があります。
- ・ 第1の方法は、本機のフェンスをガイドにして加工する方法です。
- ・ アングルガイドをはずして、フェンスを90度倒してください。
- ・ アングルガイドを使用した場合と同じ方法で、水平材料と垂直材料を加工してください。
- ・ 第2の方法は、加工する材料をガイドにする方法です。水平材料の上に垂直材料を重ねて置き、垂直材料の厚さ分ずらして2枚の材料を作業台に固定してください。
- ・ 水平材料の上にベースを載せ、ベースのセンターマークと材料の中心線を合わせて垂直材料を加工してください。
- ・ ベース面を垂直材料の木口に当て、水平材料を加工してください。



使い方

2. T形ジョイント

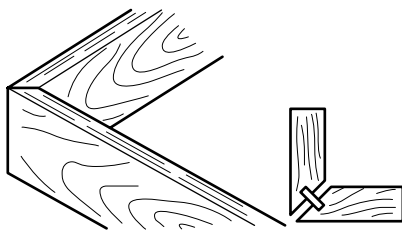
- ・ 垂直組み付け材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドの寸法およびストップパを調整して、アングルガイドのセンターマークを材料の中心線に合わせてください。
- ・ センターマークがずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。
- ・ 水平組み付け材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドをはずして、本機を材料の上に垂直に置き、ベース両側面およびベース面のセンターマークと材料の中心線を合わせてください。
- ・ それぞれのセンターマークと中心線がずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。
- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、水平材料の上に垂直材料を重ねて置き、垂直材料の厚さ分ずらして2枚の材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドをはずして、水平材料の上にベースを載せ、ベースのセンターマークと材料の中心線を合わせて垂直材料を加工してください。
- ・ ベース面を垂直材料の木口に当てて、水平材料を加工してください。



使い方

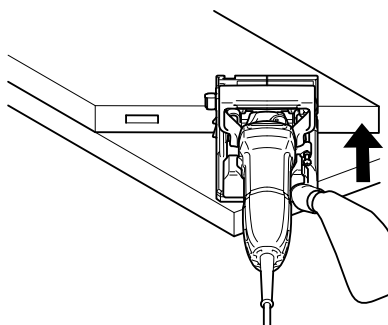
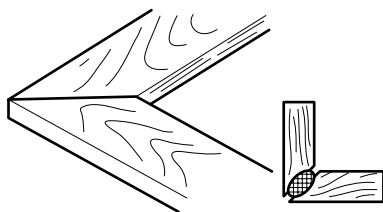
3. マイタージョイント

- ・ 溝加工する面を上にして、材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドの寸法およびストップパを調整して、ベース面のセンターマークを材料の中心線に合わせてください。
- ・ センターマークがずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。
- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、アングルガイドをはずしてフェンスを45度傾け、フェンスのセンターマークと材料の中心線を合わせてください。
- ・ センターマークと中心線がずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。



4. フレームジョイント

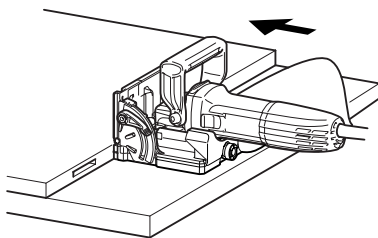
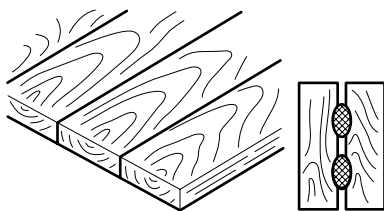
- ・ 材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドの寸法およびストップパを調整して、アングルガイドのセンターマークを材料の中心線に合わせてください。
- ・ センターマークがずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。
- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、アングルガイドをはずしてフェンスを90度傾け、フェンスのセンターマークと材料の中心線を合わせてください。
- ・ センターマークと中心線がずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。



使い方

5. エッジジョイント

- ・ 材料を作業台に固定してください。
- ・ アングルガイドの寸法およびストップパを調整して、アングルガイドのセンターマークを材料の中心線に合わせてください。
- ・ センターマークがずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。
- ・ ジョイント溝を材料の厚さの中心に入れなくてもよい場合は、アングルガイドをはずしてフェンスを90度傾け、フェンスのセンターマークと材料の中心線を合わせてください。
- ・ センターマークと中心線がずれないように注意しながら、ゆっくり本機を押して溝を加工してください。



接合加工

- ・ 加工した材料の両側の溝に、木工用接着剤を塗布してください。
- ・ ビスケットを材料の溝に入れてください。
- ・ 材料を組み合わせて、接着剤が固着するまで、バンドなどで固定しておいてください。

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882578B3

NNP

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)